



所信を表明する山崎市長

平成28年度の事業や予算を審議する市議会3月定例会が2月29日開会。山崎善也市長はこの日、新年度の市政運営方針を述べ、所信を表明しました。

1年を振り返って

市長就任直後に策定した第5次綾部市総合計画において、「住んでよかった：ゆったりやすらぎの田園都市・綾部」を将来都市像として掲げ、「医・職・住」と「教育・情報発信」をキーワードに各種施策を推進してきました。昨年は戦後70年、綾部市にとって市制施行、また日本初の世界連邦都市宣言から65年の節目の年。記念式典や世界

連邦日本大会の開催、各種記念イベントなど、市民の皆様の積極的な企画・参画のもと盛大に開催され、新たな歴史の一步を踏み出しました。

ヒト・モノの流れが変化 「地方創生」鍵に将来描く

昨年7月には長年の悲願であった京都縦貫自動車道が全線開通。一昨年に開通した舞鶴若狭自動車道と併せて、京阪神や名古屋、北陸圏と高速道路で直結されました。着実に「ヒト」や「モノ」の流れなどの環境は大きく変わろうとしており、「海の京都」事業の推進も併せ、観光や産業



昨年8月1日に開催された綾部市制施行65周年記念式典

平成28年度市政運営方針

良い風生かし「綾部創生」さらなる加速 夢の実現へチャレンジ

の振興、交流人口の増大など、新たな高速道路網の全国ネットワークの幕開けを実感しつつあります。

一方で「里山資本主義」が提唱されるなど、自然豊かな農村環境や田舎暮らしが見直され、人々の志向は東京一極集中から田園回帰に変わり始めています。

このように本市に吹く「良い風」を生かしつつ、「地方創生」をキーワードに綾部市の将来の人口ビジョンを描き、幅広い市民の皆様の参加の



▲京都縦貫自動車道は昨年7月18日に全線開通。ヒトやモノの流れが変わりつつある



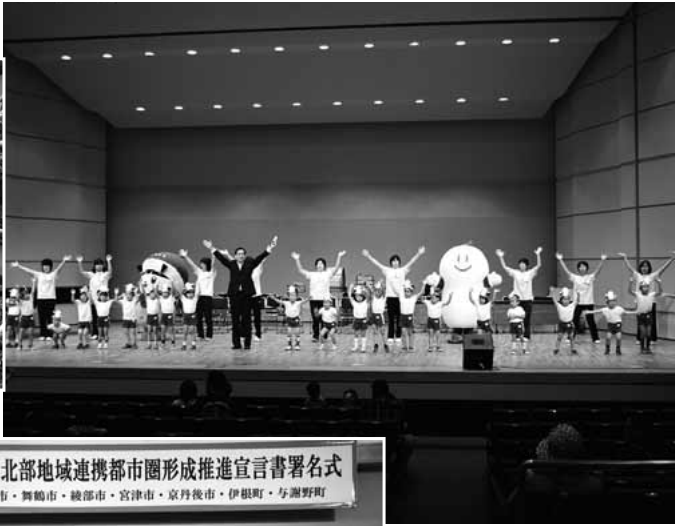
▶ 田舎暮らしが見直されている中、農村と都市の交流人口も増加



▼空き家を有効活用し、定住支援を行う

少子化対策・定住促進 施策を両輪に

第5次綾部市総合計画後期基本計画では、特に自然減を抑える少子化対策と、綾部に帰りたい人・住みたい人を受け入れる定住促進施策を車の



▲より一層の子育て環境充実を図り、少子化対策を実施



▲府北部の市町で連携し、まちづくりを推進

両輪として推し進めます。また、都市計画の区域区分(線引き)の廃止も決定となることから、本市の有効な土地利用に向けた独自の制度や新たな仕組みも整備します。さらに、包括連携協定を締結した京都工芸繊維大学や京都産業大学など高等教育機関の人的・知的資源の活用や民間事業者との連携、また30万人の人口を有する京都府北部5市2町を一つの都市圏としてポテンシャルを生かす京都府北部地域連携都市圏形成の取り組みを進めます。

今日の夢を明日の現実

私は、今年の年頭あいさつで初夢の話をしました。NHKの朝の連続テレビ小説や北陸新幹線が綾部の近辺を通るルート決定など、綾部が活気あふれるまちになってほしいとの思いが夢となったものでした。

グンゼ創業者・波多野鶴吉と妻はなの生涯を描くNHK朝の連続テレビ小説の誘致活動では、すでに4万3千人を超える方々からの署名をいただいています。北陸新幹線については、小浜から舞鶴・綾部を経由して関西国際空港ま



NHK大阪放送センターでの朝ドラ要望。引き続き誘致活動を推進

でつなぐ敦賀以西ルートが調査候補地となるよう、市議会や商工会議所、観光協会なども積極的に進めています。さらに、ものづくりの拠点となる北部リサーチパーク構想の早期実現に向けて、今日の夢を明日の現実にするべく、京都府など関係機関と連携し積極的に取り組みます。

重点課題に対応した予算編成

新年度予算は国の補正予算も踏まえ、「綾部創生」のさらなる加速化に重点を置きつつ、第5次綾部市総合計画後期基本計画のスタートの年として、「少子高齢化への対応」「産業振興による雇用確保」「次代を担う人材の育成」「農村集落の活性化と街なかの再生」「市民生活における安全・安心の確保」といった重点課題に対応するための予算編成としました。教育については引き続き、綾部市教育大綱に基づき総合教育会議を中心に教育委員会と施策の方向性を共有しながら、魅力ある教育の創造に努めます。

至誠一貫で果敢に挑戦



関係機関と連携し総合防災訓練を実施

座右の銘である「至誠一貫」を基本に、愚直なまでにコツコツ地道に努力すれば必ず結果はついてくるといふ姿勢を持ち続けていきたい、正直者が馬鹿をみるような世の中であってはならない、と思っています。人口減少社会においてこそ、自治体リーダーとして世の中を俯瞰する「鳥の眼」と地域に密着した「虫の眼」の視点を持ち、本市の将来像を確かなものにしなければなりません。この一年、大きな夢の実現に向けた第一歩となる重要な年と位置付け、積極果敢にチャレンジし、オール綾部で職員一丸となって市政運営に努めていく決意を新たにしています。